

高圧 設備機器

地域を停電させてしまう波及事故を防ぐには、高圧設備全体を保護できるように責任分界点にGR付きPASまたはUGSなどを設置することが有効です。また、設備機器に関しても定期的な設備更新・改修・清掃を怠ると思わぬ事故につながります。

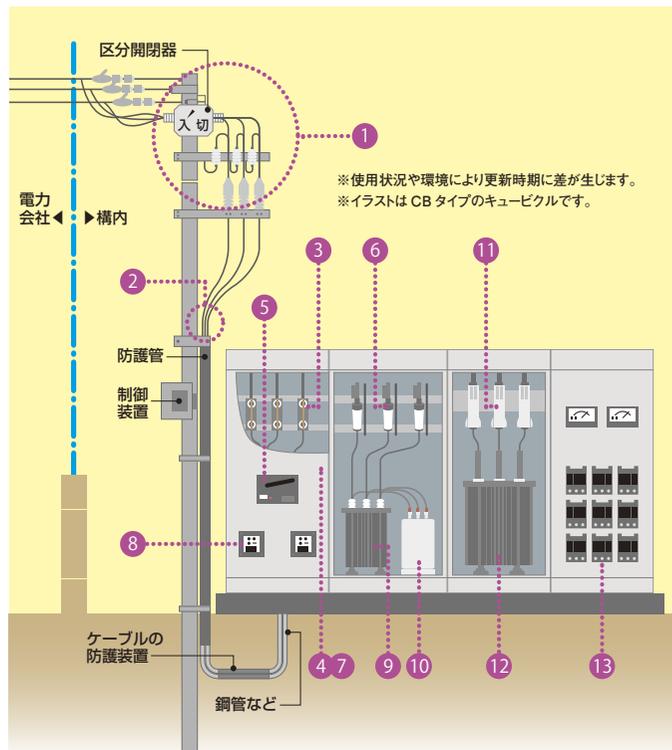
更新目安年数

更新目安 20年

当協会が推奨する機器更新の目安となる年数

無停電年次点検適用年数 **15年** 屋内設置

無停電年次点検が適用可能な機器の年数



※使用状況や環境により更新時期に差が生じます。
※イラストはCBタイプのキュービクルです。

1 責任分界点近くの保護装置

【用途】

お客様の電気の引込口(第1号柱や高圧キャビネット)に設置し、地絡事故(高圧の漏電)が起きたとき瞬時に電気を止めてくれます。波及事故を防止する重要な保護装置です。

地中引き込みの場合

更新目安 **20年**

無停電年次点検適用年数 **15年** 屋内設置



UGSが設置されていない例



UGS設置後

架空引き込みの場合

更新目安 **15年**

無停電年次点検適用年数 **15年** 屋内設置

無停電年次点検適用年数 **10年** 屋外設置



GR付きPAS



PASが設置されていない例



PAS設置後

2 高圧ケーブル

【用途】

高圧の電気を送る電線として多く利用されています。

更新目安 **20年**

無停電年次点検適用年数 **20年** Eケーブル

無停電年次点検適用年数 **15年** Eケーブル



高圧ケーブルの破損例

3 断路器 DS

更新目安 **25年**

【用途】

点検・整備あるいは、修理・改造工事などで断路器負荷側を区分し停電させるための機器です。



4 計器用変圧器 VT

更新目安 **25年**

【用途】

主に高圧の電気を電圧計に表示させるための小型の変圧器で保護継電器の電源などにも使われます。



5 真空遮断器 VCB

CBタイプの場合

更新目安 **20年**

【用途】

受電設備のおもとに多く使われる遮断装置です。保護継電器と組み合わせて異常が起きた時に電気を遮断します。



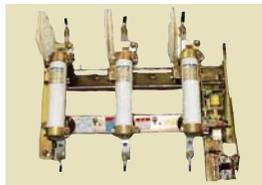
6 高圧交流負荷開閉器 LBS

PF-Sタイプの場合

更新目安 **20年**

【用途】

300kVA以下の受電設備に多く使われる遮断装置です。ヒューズと保護継電器で電気の異常が起きた時にこれを遮断します。



7 計器用変流器 CT

【用途】

主に高圧回路に流れている電流を変流し、電流計への表示や過電流継電器を動作させます。

更新目安 **25年**



8 保護継電器

【用途】

受電設備の高圧側の異常を感知する装置です。漏電を感知するもの、使いすぎやショートを感知するものがあります。

更新目安 **20年**



過電流継電器

9 直列リアクトル SR

【用途】

コンデンサの突入電流の抑制や高調波流入抑制に使用されます。

更新目安 **25年**



10 進相コンデンサ SC

【用途】

電気設備全体の力率を改善します。

更新目安 **25年**



11 高圧カットアウト PC

【用途】

主に300kVA以下の変圧器一次側に設置され、過負荷保護に使用されます。

更新目安 **25年**



12 変圧器 T

【用途】

高圧の電気を低圧に変換します。

更新目安 **25年**



13 低圧開閉器 MCCB

【用途】

低圧回路で過負荷や短絡が起きた時に電気を遮断します。

更新目安 **20年**

